

CLOSE  
UP!



「刀は本来、自分を守るためのもの。刀セラピーに用いる刀を模した木には、心身両面において悪いものを防ぎ、守護する」という意味を込めました」

対談記事 ▶▶ 028 p

株式会社 エヌエムツー

代表取締役

上地 かよ

G u i d e l i n e s f o r b u s i n e s s

上地氏が、自らの体の悩みととことん向かい合う中から生まれた刀セラピー。刀を模した木の道具を用いて体をほぐす、全く新しいボディトリートメントだ。「刀は本来、人を傷つけるためではなく自分を守るために持つもの。刀を模した木は、体にフィットする絶妙な道具というだけでなく、精神面を守るという意味もあります」と氏。刀に象徴される“人を守る”というコンセプトは、氏自身のセラピストとしての核でもあり、顧客の心身を優しく包む店づくりにも反映されている。